様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 550510	なかよしサロン事業	主管課名	高齢福祉課
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		
	施策	みんなで助け合える福祉のまち	課長名	深谷　真由美
	基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進		

(1)事業の概要

在宅の高齢者が地域社会の中で自立した生活を安心して送ることができるよう、サロンにおいて、生活指導・日常動作訓練などの基本サービス、入浴サービス、食事サービス、送迎サービスを提供する。

[対象]
・自宅で自立した日常生活を営むために社会的支援の必要な65歳以上の人（要介護又は要支援と認定された人を除く）

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	年間のべ利用者人数	人
②		
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	在宅介護支援センター職員による実態把握の中で、支援が必要と思われる者に対し、なかよしサロンを週１回利用していただき、健康チェック、生活指導、日常生活訓練、入浴、食事などの提供を行い、高齢者の自立生活を支援する。
26年度計画	■前年と同様　□変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

社会的支援の必要な６５歳以上の者

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	社会的支援の必要な６５歳以上の人数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

生活自立度を維持、向上してもらう

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	サービス利用の申請をした人数	人
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して住み慣れた地域で自立した生活を送ってもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	サービスを利用した高齢者の数	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	人	1,855	1,837	1,900	1,950	2,000	2,050
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	71	63	80	85	90	95
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	71	63	80	85	90	95
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	人	1,855	1,837	1,900	1,950	2,000	2,050
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	03	項	01	目	06

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	9,445	8,899	10,015	10,277	10,722	10,977
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,445	8,899	10,015	10,277	10,722	10,977
人件費B		千円	792	1,365	1,365	1,365	1,365	1,365
	正職員従事時間×人数	時間×人	210 × 1	90 × 4	90 × 4	90 × 4	90 × 4	90 × 4
	正職員以外の人件費	千円		30	30	30	30	30
その他費用C		千円	14	74	74	74	74	74
トータルコストA+B+C		千円	10,251	10,338	11,454	11,716	12,161	12,416
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	144	164	143	138	135	131
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	550510	なかよしサロン事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成１８年4月　から	高齢者の増加に伴い、支援の必要な高齢者の増加が事業実施上の課題。また、いかに社会的支援の必要な高齢者の把握をするかが今後の課題。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
社会的支援の必要な６５歳以上の者に対し、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：高齢者の増加に伴い支援の必要な高齢者の増加	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市なかよしサロン事業実施要綱	
			この事務を行う根拠又は理由	在宅の高齢者が地域社会の中で自立した生活を安心して営むことができるように支援するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	在宅介護支援センターを中心に高齢者の実態把握を行い、適切に対象者の把握、サービス提供がされている。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある → ■現状で適正 □ない → □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						